

2020年教員養成講座及び研修会参加ガイドライン

北部教育研修センター

コロナウイルス感染防止対策として、教員養成講座及び研修会を実施するに当たり、必要なルールや参加可能な範囲を示して、円滑で安全な講座実施が行えるようにすることを目的として以下のガイドラインを作成する。

場所とタスク	活動に関して守るべきルール
研修室内 (受講者)	<ul style="list-style-type: none"> □ 講座・研修会の開始前から十分換気を行う。 □ 3人掛けのテーブルの窓側と入口側は両端に2名座り、真ん中のテーブルは中央に1名座る。 □ テーブルは必ず、一列ごとに間隔を空けて使用する。 □ 講座・研修中も換気のために必ず両側のドアとガラス窓を開放したままにする。 □ 講座・研修参加者は、体調不良や発熱がある場合は参加を控える。 □ 講座・研修参加者は、必ずマスクを着用し、入り口の手指消毒を実施すること。 □ 密閉空間や集団での受講が抵抗あるものは、資料・課題を受け取り、自宅学習を可とする。 □ 出席確認のペン等は各自のものを使用する。(センターでは準備しない)
センター職員	<ul style="list-style-type: none"> □ 換気は十分か確認する。 □ 研修室の使用後は除菌シートで机を拭く。 □ 常に清潔に保つため、消毒液(アルコールまたは薄めた界面活性剤)を使用し、デスク回りを頻繁に拭くようにする。 □ 使用したPC、マイクは、使用后、随時、消毒液などをスプレーした布でふき、清潔に保つ。 □ 本などは紙なので消毒液などで拭くことはしなくてもよい。 □ 諸連絡や講座対応の際、センター職員もマスクを着用する。
研修講師	<ul style="list-style-type: none"> □ 換気は十分か確認する。 □ 講座の際、講師についてもマスクを着用し、できるだけ大きな声にならないようにマイクを使う。 □ 講座担当者は、受講者の密を避ける様、研修室内の着席を管理する。 □ PC等を使う際、利用者には使用前に手指消毒をする。 □ 講座の場合は、必ず検温をしてから講義する。37.5度以上の体温の場合、講義しない。
講演会 (多目的ホール) ※R2.4.1～8.31までは名桜大学の方針に基づいて使用しない。 ※R2.9.1以降については大学の方針に基づく	<ul style="list-style-type: none"> □ 講座の開始前から終了後においても十分換気を行う。 □ 折り畳みイスの1人又は2人分の間隔を空けて列の間隔を1列空けて座る。 □ 講演中も換気のために必ず両側の入口ドアを開放したままにする。 □ 講演会参加者は、体調不良や発熱がある場合は参加を控える。 □ 講演会参加者は、必ずマスクを着用し、入り口の手指消毒を実施すること。 □ 密閉空間や集団での受講が抵抗あるものは、資料を受け取り、自宅学習を可とする。 □ 出席確認のペン等は各自のものを使用する。(センターでは準備しない) □ 入口での受付係職員はマスク着用のうえ、受講者への手渡しでの資料配布は行わない。 □ 受講者と受付職員の間ウイルス飛散防止のシールドを設置する。
講演会 (研修室使用)	<ul style="list-style-type: none"> □ 上記の「研修室内」へ準ずる。
公開授業 (学校施設)	<ul style="list-style-type: none"> □ 当該、小中学校のガイドラインを遵守し、センター職員及び研修講師は上記のガイドラインに従う。 □ ワークショップ型式は3密になる恐れがあるため、原則行わない。